

# 結果の概要

## I 医薬品

平成23年における医薬品最終製品の国内での生産金額は6兆9,874億円、外国からの輸入金額は2兆5,313億円で、合計金額は9兆5,187億円であった。

これに対し、国内への出荷金額は9兆3,105億円、外国への輸出金額は1,384億円であった。

### 1. 医薬品の生産状況

- (1) 平成23年における医薬品最終製品の生産金額は6兆9,874億円で前年の6兆7,791億円と比較すると、2,083億円(3.1%)の増加となっている。用途区別に見ると、医療用医薬品の生産金額は6兆3,445億円で3.2%の増加、その他の医薬品の生産金額は6,429億円で、2.0%の増加となった。また、構成比で見ると、医療用医薬品が全体の90.8%を占め、その他の医薬品は9.2%を占めている。

過去10年の推移をみると、14年は0.8%の減少、15年は0.5%の増加、16年は0.8%の減少、17年は4.4%の増加、18年は0.7%の増加、19年は0.2%の増加、20年は2.6%の増加、21年は3.0%の増加、22年は0.6%の減少、23年は3.1%の増加となった。薬価基準改定が実施された年は減少する傾向があり、平成22年は減少、平成23年は増加となっている。なお、薬価基準改定は、薬剤費ベースで平成14年以降では、14年(-6.3%)、16年(-4.2%)、18年(-6.7%)、20年(-5.2%)、22年(-5.75%)に実施されている。

- (2) 最近10年の医薬品生産金額の推移は、第1表に示すとおりである。
- (3) 医薬品薬効大分類別生産金額は第2表のほか各表に示すとおりであり、上位10分類で5兆3,661億円、76.8%を占めている。
- (4) 年間250億円以上の医薬品薬効中分類別生産金額は第3表に示すとおりである。

第1表 医薬品生産金額の推移

年	生産		医療用医薬品		その他の医薬品		一般用医薬品		配置用家庭薬	
	金額 百万円	伸び率 %	金額 百万円	伸び率 %	金額 百万円	伸び率 %	金額 百万円	伸び率 %	金額 百万円	伸び率 %
平成14年	6,144,801	-0.8	5,391,257	-0.6	753,545	-2.1	701,839	-1.9	51,706	-4.3
平成15年	6,173,374	0.5	5,458,948	1.3	714,426	-5.2	666,865	-5.0	47,561	-8.0
平成16年	6,121,169	-0.8	5,440,184	-0.3	680,984	-4.7	636,758	-4.5	44,226	-7.0
平成17年	6,390,722	4.4	5,741,280	5.5	649,442	-4.6	611,492	-4.0	37,951	-14.2
平成18年	6,438,082	0.7	5,803,581	1.1	634,501	-2.3	599,259	-2.0	35,243	-7.1
平成19年	6,452,166	0.2	5,828,086	0.4	624,080	-1.6	592,963	-1.1	31,117	-11.7
平成20年	6,620,091	2.6	5,992,765	2.8	627,327	0.5	598,438	0.9	28,889	-7.2
平成21年	6,819,589	3.0	6,174,202	3.0	645,387	2.9	616,601	3.0	28,786	-0.4
平成22年	6,779,099	-0.6	6,148,876	-0.4	630,223	-2.3	602,193	-2.3	28,030	-2.6
平成23年	6,987,367	3.1	6,344,512	3.2	642,855	2.0	617,231	2.5	25,624	-8.6

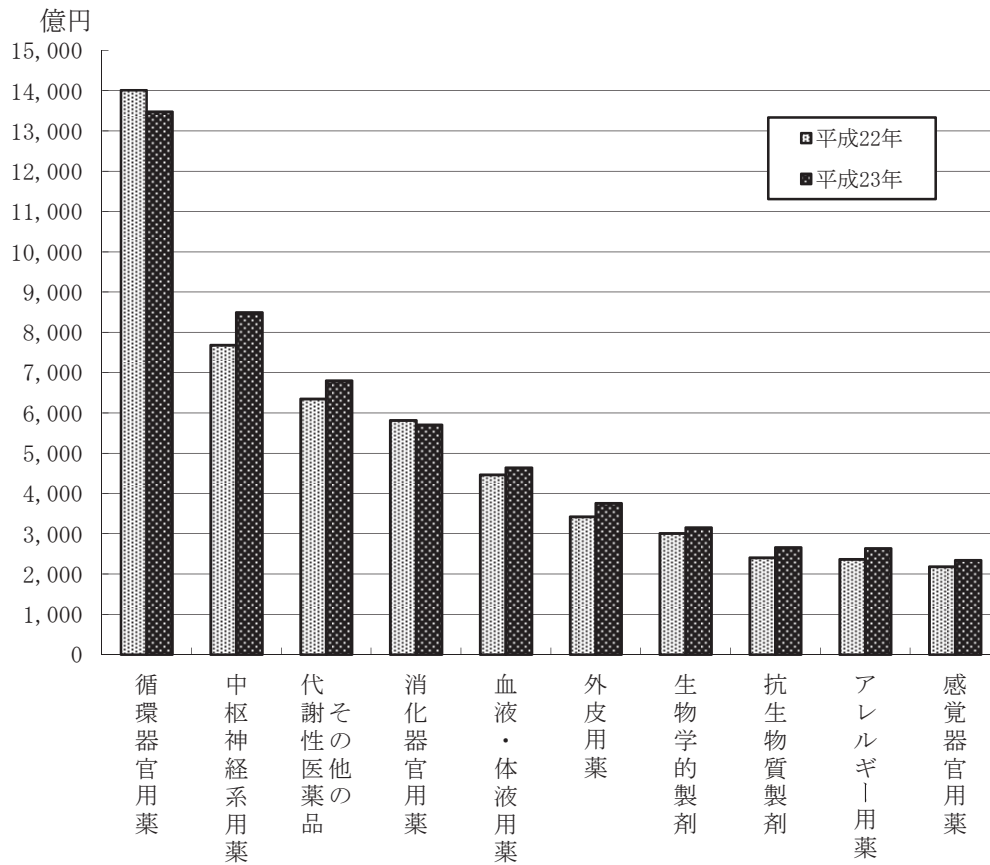
注) 平成17年から生産及び輸入の定義が変更されたが、同一条件での比較のため、平成16年以前についても平成17年以降の定義で表記している。

第2表 医薬品薬効大分類別生産金額

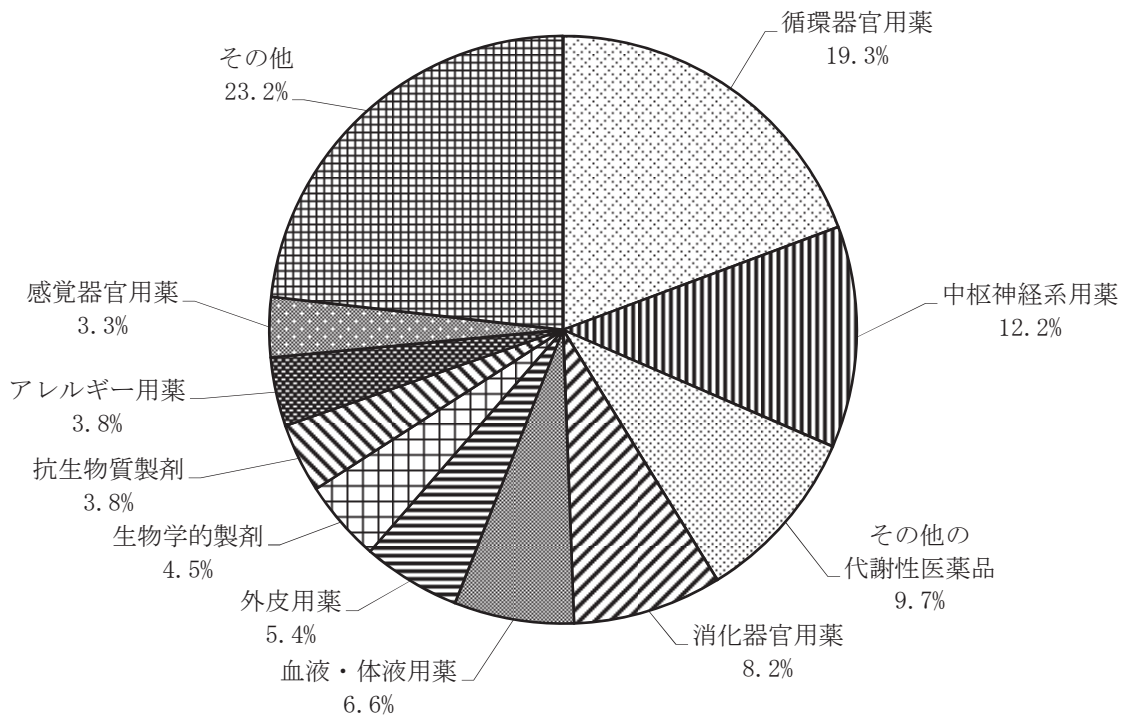
順位	薬効大分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		平成23年 百万円	平成22年 百万円	増減額 百万円	比率 %	平成23年 %	平成22年 %
	総数	6,987,367	6,779,099	208,268	3.1	100.0	100.0
1	循環器官用薬	1,347,996	1,401,736	-53,740	-3.8	19.3	20.7
2	中枢神経系用薬	849,373	768,546	80,827	10.5	12.2	11.3
3	その他の代謝性医薬品	679,786	634,965	44,822	7.1	9.7	9.4
4	消化器官用薬	570,135	581,966	-11,831	-2.0	8.2	8.6
5	血液・体液用薬	463,919	446,699	17,220	3.9	6.6	6.6
6	外皮用薬	375,805	342,556	33,250	9.7	5.4	5.1
7	生物学的製剤	315,352	300,840	14,512	4.8	4.5	4.4
8	抗生物質製剤	265,932	240,226	25,706	10.7	3.8	3.5
9	アレルギー用薬	263,709	236,675	27,034	11.4	3.8	3.5
10	感覚器官用薬	234,058	218,686	15,372	7.0	3.3	3.2
11	体外診断用医薬品	190,156	200,128	-9,972	-5.0	2.7	3.0
12	ビタミン剤	177,433	193,588	-16,154	-8.3	2.5	2.9
13	泌尿生殖器官及び肛門用薬	156,118	158,560	-2,441	-1.5	2.2	2.3
14	腫瘍用薬	152,796	142,093	10,703	7.5	2.2	2.1
15	滋養強壯薬	147,941	162,612	-14,671	-9.0	2.1	2.4
16	ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	139,935	114,985	24,950	21.7	2.0	1.7
17	漢方製剤	132,027	127,310	4,717	3.7	1.9	1.9
18	呼吸器官用薬	123,835	123,160	674	0.5	1.8	1.8
19	化学療法剤	115,418	84,336	31,081	36.9	1.7	1.2
20	診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）	54,184	57,008	-2,823	-5.0	0.8	0.8
21	人工透析用薬	48,103	51,683	-3,580	-6.9	0.7	0.8
22	末梢神経系用薬	40,638	43,709	-3,071	-7.0	0.6	0.6
23	放射性医薬品	33,481	35,016	-1,535	-4.4	0.5	0.5
24	その他の治療を主目的としない医薬品	22,687	29,855	-7,168	-24.0	0.3	0.4
25	公衆衛生用薬	22,554	20,768	1,786	8.6	0.3	0.3
	その他	63,993	61,394	2,599	4.2	0.9	0.9

（注）医薬品薬効大分類の順位は、平成23年の生産金額の順による。

第1図 医薬品主要薬効大分類別生産金額



第2図 医薬品薬効大分類別生産金額割合



第3表 医薬品薬効中分類別生産金額

順位	薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		23年	22年	増減額	比率	23年	22年
		百万円	百万円	百万円	%	%	%
	総数	6,987,367	6,779,099	208,268	3.1	100.0	100.0
1	血压降下剤	653,623	643,322	10,301	1.6	9.4	9.5
2	他に分類されない代謝性医薬品	419,055	385,463	33,592	8.7	6.0	5.7
3	消化性潰瘍用剤	364,329	367,286	-2,958	-0.8	5.2	5.4
4	その他の血液・体液用薬	299,038	294,115	4,923	1.7	4.3	4.3
5	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	271,665	242,683	28,981	11.9	3.9	3.6
6	血管拡張剤	253,248	270,997	-17,749	-6.5	3.6	4.0
7	その他のアレルギー用薬	251,722	224,376	27,346	12.2	3.6	3.3
8	その他の中枢神経系用薬	239,245	189,554	49,692	26.2	3.4	2.8
9	高脂血症用剤	228,270	276,772	-48,502	-17.5	3.3	4.1
10	血液製剤類	201,366	189,419	11,947	6.3	2.9	2.8
11	眼科用剤	198,041	183,684	14,357	7.8	2.8	2.7
12	精神神経用剤	178,000	176,392	1,608	0.9	2.5	2.6
13	糖尿病用剤	166,188	153,545	12,643	8.2	2.4	2.3
14	主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	165,498	137,585	27,912	20.3	2.4	2.0
15	解熱鎮痛消炎剤	164,491	150,815	13,676	9.1	2.4	2.2
16	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	141,672	143,722	-2,050	-1.4	2.0	2.1
17	漢方製剤	132,027	127,310	4,717	3.7	1.9	1.9
18	生化学的検査用剤	103,403	103,690	-287	-0.3	1.5	1.5
19	その他の循環器官用薬	86,463	87,868	-1,405	-1.6	1.2	1.3
20	血液凝固阻止剤	85,501	74,883	10,618	14.2	1.2	1.1
21	催眠鎮静剤、抗不安剤	85,082	84,630	452	0.5	1.2	1.2
22	たん白アミノ酸製剤	81,751	96,231	-14,480	-15.0	1.2	1.4
23	その他の消化器官用薬	78,715	82,840	-4,124	-5.0	1.1	1.2
24	不整脈用剤	77,336	71,928	5,408	7.5	1.1	1.1
25	その他の腫瘍用薬	75,948	56,049	19,899	35.5	1.1	0.8
26	その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	72,990	68,560	4,430	6.5	1.0	1.0
27	血液代用剤	71,101	67,920	3,181	4.7	1.0	1.0
28	抗パーキンソン剤	66,634	58,268	8,366	14.4	1.0	0.9
29	総合感冒剤	66,002	66,219	-217	-0.3	0.9	1.0
30	免疫血清学的検査用剤	65,723	73,864	-8,141	-11.0	0.9	1.1
31	ワクチン類	62,109	73,090	-10,981	-15.0	0.9	1.1
32	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤	60,857	61,949	-1,091	-1.8	0.9	0.9
33	ビタミンB剤（ビタミンB1剤を除く。）	55,684	58,405	-2,721	-4.7	0.8	0.9
34	抗ウイルス剤	53,588	34,026	19,561	57.5	0.8	0.5
35	合成抗菌剤	48,661	36,949	11,711	31.7	0.7	0.5
36	混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）	47,575	49,513	-1,938	-3.9	0.7	0.7
37	その他の滋養強壯薬	46,749	48,520	-1,771	-3.6	0.7	0.7
38	代謝拮抗剤	45,488	56,573	-11,085	-19.6	0.7	0.8
39	ビタミンA及びD剤	45,335	50,444	-5,109	-10.1	0.6	0.7
40	去たん剤	43,304	43,890	-586	-1.3	0.6	0.6
41	抗てんかん剤	42,580	35,994	6,586	18.3	0.6	0.5
42	X線造影剤	40,491	43,746	-3,255	-7.4	0.6	0.6
43	総合代謝性製剤	38,950	42,394	-3,444	-8.1	0.6	0.6
44	その他の生物学的製剤	38,892	26,755	12,136	45.4	0.6	0.4
45	放射性医薬品	33,481	35,016	-1,535	-4.4	0.5	0.5
46	人工腎臓透析用剤	31,427	34,518	-3,091	-9.0	0.4	0.5
47	外用殺菌消毒剤	30,022	26,654	3,367	12.6	0.4	0.4
48	副腎ホルモン剤	29,447	19,100	10,347	54.2	0.4	0.3
49	下剤、浣腸剤	28,355	31,951	-3,595	-11.3	0.4	0.5
50	気管支拡張剤	27,918	27,087	830	3.1	0.4	0.4
51	痛風治療剤	27,152	24,838	2,314	9.3	0.4	0.4
52	止しゃ剤、整腸剤	26,128	23,724	2,405	10.1	0.4	0.3
53	耳鼻科用剤	25,524	24,088	1,436	6.0	0.4	0.4

(注) 医薬品薬効中分類の順位は、平成23年の生産金額の順位によるものであり、生産金額が250億円以上のものである。

## 2. 医薬品の薬効分類別生産状況

### (1) 循環器官用薬

循環器官用薬の生産金額は1兆3,480億円であり、医薬品総生産金額の19.3%を占め、前年に比較して537億円(3.8%)の減少となっている。

内訳は第4表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、血圧降下剤で48.5%を占めており、血管拡張剤18.8%、高脂血症用剤16.9%、その他の循環器官用薬6.4%という順になっている。

第4表 循環器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	1,347,996	1,401,736	-53,740	-3.8	100.0	100.0
強心剤	20,865	20,960	-95	-0.5	1.5	1.5
不整脈用剤	77,336	71,928	5,408	7.5	5.7	5.1
利尿剤	18,907	19,947	-1,040	-5.2	1.4	1.4
血圧降下剤	653,623	643,322	10,301	1.6	48.5	45.9
血管補強剤	39	53	-14	-26.7	-	-
血管収縮剤	9,245	9,890	-645	-6.5	0.7	0.7
血管拡張剤	253,248	270,997	-17,749	-6.5	18.8	19.3
高脂血症用剤	228,270	276,772	-48,502	-17.5	16.9	19.7
その他の循環器官用薬	86,463	87,868	-1,405	-1.6	6.4	6.3

### (2) 中枢神経系用薬

中枢神経系用薬の生産金額は8,494億円であり、医薬品総生産金額の12.2%を占め、前年に比較して808億円(10.5%)の増加となっている。

内訳は第5表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他の中枢神経系用薬で28.2%を占めており、精神神経用剤で21.0%、解熱鎮痛消炎剤19.4%、催眠鎮静剤、抗不安剤10.0%、抗パーキンソン剤7.8%、総合感冒剤7.8%という順になっている。

第5表 中枢神経系用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	849,373	768,546	80,827	10.5	100.0	100.0
全身麻酔剤	6,653	5,990	663	11.1	0.8	0.8
催眠鎮静剤、抗不安剤	85,082	84,630	452	0.5	10.0	11.0
抗てんかん剤	42,580	35,994	6,586	18.3	5.0	4.7
解熱鎮痛消炎剤	164,491	150,815	13,676	9.1	19.4	19.6
興奮剤、覚せい剤	685	683	2	0.3	0.1	0.1
抗パーキンソン剤	66,634	58,268	8,366	14.4	7.8	7.6
精神神経用剤	178,000	176,392	1,608	0.9	21.0	23.0
総合感冒剤	66,002	66,219	-217	-0.3	7.8	8.6
その他の中枢神経系用薬	239,245	189,554	49,692	26.2	28.2	24.7

### (3) その他の代謝性医薬品

その他の代謝性医薬品の生産金額は6,798億円であり、医薬品総生産金額の9.7%を占め、前年に比較して448億円(7.1%)の増加となっている。

内訳は第6表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、他に分類されない代謝性医薬品で61.6%を占めており、糖尿病用剤24.4%、総合代謝性製剤5.7%、痛風治療剤4.0%という順になっている。

第6表 その他の代謝性医薬品の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	679,786	634,965	44,822	7.1	100.0	100.0
肝臓疾患用剤	3,703	3,138	565	18.0	0.5	0.5
解毒剤	13,475	13,456	19	0.1	2.0	2.1
習慣性中毒用剤	261	276	-15	-5.4	-	-
痛風治療剤	27,152	24,838	2,314	9.3	4.0	3.9
酵素製剤	11,004	11,854	-851	-7.2	1.6	1.9
糖尿病用剤	166,188	153,545	12,643	8.2	24.4	24.2
総合代謝性製剤	38,950	42,394	-3,444	-8.1	5.7	6.7
他に分類されない代謝性医薬品	419,055	385,463	33,592	8.7	61.6	60.7

### (4) 消化器官用薬

消化器官用薬の生産金額は5,701億円であり、医薬品総生産金額の8.2%を占め、前年に比較して118億円(2.0%)の減少となっている。

内訳は第7表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、消化性潰瘍用剤で63.9%を占めており、その他の消化器官用薬13.8%、下剤、浣腸剤5.0%、止しゃ剤、整腸剤4.6%という順になっている。

第7表 消化器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	570,135	581,966	-11,831	-2.0	100.0	100.0
止しゃ剤、整腸剤	26,128	23,724	2,405	10.1	4.6	4.1
消化性潰瘍用剤	364,329	367,286	-2,958	-0.8	63.9	63.1
健胃消化剤	11,736	11,107	630	5.7	2.1	1.9
制酸剤	18,425	16,206	2,219	13.7	3.2	2.8
下剤、浣腸剤	28,355	31,951	-3,595	-11.3	5.0	5.5
利胆剤	18,789	21,927	-3,138	-14.3	3.3	3.8
複合胃腸剤	23,657	26,926	-3,269	-12.1	4.1	4.6
その他の消化器官用薬	78,715	82,840	-4,124	-5.0	13.8	14.2

(5) 血液・体液用薬

血液・体液用薬の生産金額は4,639億円であり、医薬品総生産金額の6.6%を占め、前年に比較して172億円(3.9%)の増加となっている。

内訳は第8表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他の血液・体液用薬で64.5%を占めており、血液凝固阻止剤18.4%、血液代用剤15.3%、止血剤1.8%の順になっている。

第8表 血液・体液用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	463,919	446,699	17,220	3.9	100.0	100.0
血液代用剤	71,101	67,920	3,181	4.7	15.3	15.2
止血剤	8,280	9,782	-1,502	-15.4	1.8	2.2
血液凝固阻止剤	85,501	74,883	10,618	14.2	18.4	16.8
その他の血液・体液用薬	299,038	294,115	4,923	1.7	64.5	65.8

(6) 外皮用薬

外皮用薬の生産金額は3,758億円であり、医薬品総生産金額の5.4%を占め、前年に比較して333億円(9.7%)の増加となっている。

内訳は第9表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤で72.3%を占めており、外皮用殺菌消毒剤8.0%、その他の外皮用薬5.0%、寄生性皮膚疾患用剤4.7%という順になっている。

第9表 外皮用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	375,805	342,556	33,250	9.7	100.0	100.0
外皮用殺菌消毒剤	30,022	26,654	3,367	12.6	8.0	7.8
創傷保護剤	2,015	2,113	-98	-4.6	0.5	0.6
化膿性疾患用剤	9,163	8,371	792	9.5	2.4	2.4
鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	271,665	242,683	28,981	11.9	72.3	70.8
寄生性皮膚疾患用剤	17,710	17,409	301	1.7	4.7	5.1
皮膚軟化剤(腐しよく剤を含む。)	9,369	10,207	-838	-8.2	2.5	3.0
毛髪用剤(発毛剤、脱毛剤、染毛剤、養毛剤)	16,914	16,661	253	1.5	4.5	4.9
浴剤	1	1	1	100.0	-	-
その他の外皮用薬	18,946	18,454	492	2.7	5.0	5.4



(7) 生物学的製剤

生物学的製剤の生産金額は3,154億円であり、医薬品総生産金額の4.5%を占め、前年に比較して145億円(4.8%)の増加となっている。

内訳は第10表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、血液製剤類で63.9%を占めており、ワクチン類19.7%、その他の生物学的製剤12.3%、混合生物学的製剤3.8%という順になっている。

第10表 生物学的製剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	315,352	300,840	14,512	4.8	100.0	100.0
ワクチン類	62,109	73,090	-10,981	-15.0	19.7	24.3
毒素及びトキソイド類	912	916	-3	-0.4	0.3	0.3
抗毒素類及び抗レプトスピラ血清類	51	-	51	-	-	-
血液製剤類	201,366	189,419	11,947	6.3	63.9	63.0
生物学的試験用製剤類	-	-	-	-	-	-
混合生物学的製剤	12,022	10,660	1,362	12.8	3.8	3.5
その他の生物学的製剤	38,892	26,755	12,136	45.4	12.3	8.9

(8) 抗生物質製剤

抗生物質製剤の生産金額は2,659億円であり、医薬品総生産金額の3.8%を占め、前年に比較して257億円(10.7%)の増加となっている。

内訳は第11表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤で62.2%を占めており、主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤22.9%、主としてカビに作用する抗生物質製剤6.8%、主としてグラム陽性菌に作用する抗生物質製剤5.1%という順になっている。

第11表 抗生物質製剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	265,932	240,226	25,706	10.7	100.0	100.0
主としてグラム陽性菌に作用する抗生物質製剤	13,548	14,125	-577	-4.1	5.1	5.9
主としてグラム陰性菌に作用する抗生物質製剤	3,536	4,951	-1,414	-28.6	1.3	2.1
主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	165,498	137,585	27,912	20.3	62.2	57.3
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤	60,857	61,949	-1,091	-1.8	22.9	25.8
主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチア、クラミジアに作用する抗生物質製剤	2,926	2,484	443	17.8	1.1	1.0
主として抗酸菌に作用する抗生物質製剤	1,605	1,504	101	6.7	0.6	0.6
主としてカビに作用する抗生物質製剤	17,962	17,629	333	1.9	6.8	7.3
その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤を含む。)	-	-	-	-	-	-

(9) アレルギー用薬

アレルギー用薬の生産金額は2,637億円であり、医薬品総生産金額の3.8%を占め、前年に比較して270億円(11.4%)の増加となっている。

内訳は第12表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他のアレルギー用薬で95.5%を占めており、抗ヒスタミン剤2.7%、刺激療法剤1.8%という順になっている。

第12表 アレルギー用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	263,709	236,675	27,034	11.4	100.0	100.0
抗ヒスタミン剤	7,178	6,788	390	5.8	2.7	2.9
刺激療法剤	4,810	5,512	-702	-12.7	1.8	2.3
非特異性免疫原製剤	-	-	-	-	-	-
その他のアレルギー用薬	251,722	224,376	27,346	12.2	95.5	94.8

(10) 感覚器官用薬

感覚器官用薬の生産金額は2,341億円であり、医薬品総生産金額の3.3%を占め、前年に比較して154億円(7.0%)の増加となっている。

内訳は第13表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、眼科用剤で84.6%を占めており、耳鼻科用剤10.9%、鎮量剤4.5%という順になっている。

第13表 感覚器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	234,058	218,686	15,372	7.0	100.0	100.0
眼科用剤	198,041	183,684	14,357	7.8	84.6	84.0
耳鼻科用剤	25,524	24,088	1,436	6.0	10.9	11.0
鎮量剤	10,449	10,876	-427	-3.9	4.5	5.0
その他の感覚器官用薬	44	38	6	14.9	-	-

(11) 体外診断用医薬品

体外診断用医薬品の生産金額は1,902億円であり、医薬品総生産金額の2.7%を占め、前年に比較して100億円(5.0%)の減少となっている。

内訳は第14表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、生化学的検査用剤で44.4%を占めており、免疫血清学的検査用剤34.6%、血液学的検査用試薬5.7%、一般検査用剤4.1%という順になっている。

第14表 体外診断用医薬品の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	190,156	200,128	-9,972	-5.0	100.0	100.0
一般検査用剤	7,732	9,194	-1,462	-15.9	4.1	4.6
血液学的検査用試薬	10,817	10,417	400	3.8	5.7	5.2
生化学的検査用剤	103,403	103,690	-287	-0.3	54.4	51.8
免疫血清学的検査用剤	65,723	73,864	-8,141	-11.0	34.6	36.9
細菌学的検査用剤	2,042	2,512	-470	-18.7	1.1	1.3
病理組織検査用剤	440	452	-12	-2.6	0.2	0.2

(12) ビタミン剤

ビタミン剤の生産金額は1,774億円であり、医薬品総生産金額の2.5%を占め、前年に比較して162億円(8.3%)の減少となっている。

内訳は第15表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)で31.4%を占めており、混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。)26.8%、ビタミンA及びD剤25.6%、ビタミンB1剤5.3%という順になっている。

第15表 ビタミン剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	177,433	193,588	-16,154	-8.3	100.0	100.0
ビタミンA及びD剤	45,335	50,444	-5,109	-10.1	25.6	26.1
ビタミンB1剤	9,441	10,334	-893	-8.6	5.3	5.3
ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)	55,684	58,405	-2,721	-4.7	31.4	30.2
ビタミンC剤	5,297	5,666	-369	-6.5	3.0	2.9
ビタミンE剤	3,246	3,464	-218	-6.3	1.8	1.8
ビタミンK剤	4,562	7,660	-3,098	-40.4	2.6	4.0
混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。)	47,575	49,513	-1,938	-3.9	26.8	25.6
その他のビタミン剤	6,293	8,101	-1,808	-22.3	3.5	4.2

(13) 泌尿生殖器官及び肛門用薬

泌尿生殖器官及び肛門用薬の生産金額は1,561億円であり、医薬品総生産金額の2.2%を占め、前年に比較して24億円(1.5%)の減少となっている。

内訳は第16表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬で90.7%を占めており、痔疾用剤8.5%、生殖器官用剤(性病予防剤を含む)0.6%、泌尿器官用剤0.1%、子宮収縮剤0.1%という順になっている。

第16表 泌尿生殖器官及び肛門用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	156,118	158,560	-2,441	-1.5	100.0	100.0
泌尿器官用剤	83	113	-29	-25.8	0.1	0.1
生殖器官用剤(性病予防剤を含む。)	947	872	75	8.6	0.6	0.5
子宮収縮剤	148	148	-	0.2	0.1	0.1
避妊剤	64	29	35	122.8	-	-
痔疾用剤	13,203	13,676	-473	-3.5	8.5	8.6
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	141,672	143,722	-2,050	-1.4	90.7	90.6

(14) 腫瘍用薬

腫瘍用薬の生産金額は1,528億円であり、医薬品総生産金額の2.2%を占め、前年に比較して107億円(7.5%)の増加となっている。

内訳は第17表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他の腫瘍用薬49.7%、代謝拮抗剤で29.8%を占めており、抗腫瘍性植物成分製剤13.6%、抗腫瘍性抗生物質製剤6.3%という順になっている。

第17表 腫瘍用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	152,796	142,093	10,703	7.5	100.0	100.0
アルキル化剤	892	1,287	-396	-30.7	0.6	0.9
代謝拮抗剤	45,488	56,573	-11,085	-19.6	29.8	39.8
抗腫瘍性抗生物質製剤	9,672	10,473	-801	-7.6	6.3	7.4
抗腫瘍性植物成分製剤	20,795	17,711	3,085	17.4	13.6	12.5
その他の腫瘍用薬	75,948	56,049	19,899	35.5	49.7	39.4

(15) 滋養強壯薬

滋養強壯薬の生産金額は1,479億円であり、医薬品総生産金額の2.1%を占め、前年と比較して147億円(9.0%)の減少となっている。

内訳は第18表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、たん白アミノ酸製剤で55.3%を占めており、その他の滋養強壯薬31.6%、無機質製剤6.2%、糖類剤4.1%という順になっている。

第18表 滋養強壯剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	147,941	162,612	-14,671	-9.0	100.0	100.0
カルシウム剤	3,903	3,596	307	8.5	2.6	2.2
無機質製剤	9,099	7,628	1,471	19.3	6.2	4.7
糖類剤	6,086	6,208	-122	-2.0	4.1	3.8
有機酸製剤	-	-	-	-	-	-
たん白アミノ酸製剤	81,751	96,231	-14,480	-15.0	55.3	59.2
臓器製剤	188	256	-68	-26.6	0.1	0.2
乳幼児用剤	164	172	-8	-4.5	0.1	0.1
その他の滋養強壯薬	46,749	48,520	-1,771	-3.6	31.6	29.8

### 3. 医薬品の剤型分類、用途区分及び薬効分類別生産状況

#### (1) 剤型分類

医薬品剤型分類別生産金額についてみると、第19表に示すとおりである。

このうち、最も生産金額の大きいものは錠剤で52.1%を占め、カプセル剤の5.6%、注射液剤の5.6%、散剤・顆粒剤等の5.4%、の順となっている。また、この4分類で全体の68.7%を占めている。

対前年増減額についてみると、錠剤428億円(1.2%)、粉末注射剤402億円(19.7%)、外用液剤357億円(12.1%)等が増加している。

一方、カプセル剤100億円(2.5%)、散剤・顆粒剤等87億円(2.3%)、内用液剤78億円(4.5%)等が減少している。

第19表 医薬品剤型分類別生産金額

剤 型 分 類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総 数	6,987,367	6,779,099	208,268	3.1	100.0	100.0
散剤・顆粒剤等	375,861	384,555	-8,693	-2.3	5.4	5.7
錠剤	3,642,649	3,599,803	42,846	1.2	52.1	53.1
丸剤	14,824	13,590	1,234	9.1	0.2	0.2
カプセル剤	393,481	403,529	-10,048	-2.5	5.6	6.0
内用液剤	165,651	173,494	-7,843	-4.5	2.4	2.6
注射液剤	390,360	365,372	24,988	6.8	5.6	5.4
粉末注射剤	244,590	204,385	40,205	19.7	3.5	3.0
外用液剤	331,882	296,169	35,714	12.1	4.7	4.4
エアゾール剤	11,951	11,932	19	0.2	0.2	0.2
軟膏・クリーム剤	147,805	138,490	9,314	6.7	2.1	2.0
坐剤	16,314	18,615	-2,301	-12.4	0.2	0.3
硬膏剤・パップ剤・パスタ剤	220,599	195,706	24,893	12.7	3.2	2.9
その他	1,031,400	973,460	57,940	6.0	14.8	14.4

## (2) 用途区分

医薬品用途区分別生産金額についてみると、第20表に示すとおりである。

医療用医薬品の生産金額は6兆3,445億円であり、前年に比較して1956億円(3.2%)の増加となり、全体の90.8%を占めている。一方、その他の医薬品の生産金額は6,429億円であり、前年と比較して126億円(2.0%)の増加となり、全体の9.2%を占めている。

第20表 医薬品用途区分別生産金額

用途区分	生産金額		対前年増減		構成割合	
	23年	22年	増減額	比	23年	22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	6,987,367	6,779,099	208,268	3.1	100.0	100.0
医療用医薬品	6,344,512	6,148,876	195,636	3.2	90.8	90.7
国産	4,614,695	4,494,003	120,692	2.7	66.0	66.3
輸入 ※	1,729,818	1,654,873	74,945	4.5	24.8	24.4
その他の医薬品	642,855	630,223	12,632	2.0	9.2	9.3
一般用医薬品	617,231	602,193	15,037	2.5	8.8	8.9
配置用家庭薬	25,624	28,030	-2,406	-8.6	0.4	0.4

## (3) 薬効分類

医薬品薬効大分類別用途区分別生産金額は、第21表に示すとおりであり、公衆衛生薬を除いて医療用医薬品の占める割合がその他の医薬品より大きくなっている。

このほか、その他の医薬品の構成比が比較的高いものとして、外皮用薬(34.8%)、ビタミン剤(36.0%)、感覚器官用薬(33.5%)、滋養強壮薬(31.8%)等がある。

第21表 医薬品薬効大分類別

生産 金額 順位	薬効大分類	合 計		医 療 用 医 薬			
				小 計		国 産	
		生産金額	構成比	生産金額	構成比	生産金額	構成比
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
	総 数	6,987,367	100.0	6,344,512	90.8	4,614,695	66.0
1	循環器官用薬	1,347,996	100.0	1,340,745	99.5	733,076	54.4
2	中枢神経系用薬	849,373	100.0	747,312	88.0	466,321	54.9
3	その他の代謝性医薬品	679,786	100.0	628,534	92.5	493,469	72.6
4	消化器官用薬	570,135	100.0	500,109	87.7	428,969	75.2
5	血液・体液用薬	463,919	100.0	463,919	100.0	355,947	76.7
6	外皮用薬	375,805	100.0	245,073	65.2	209,906	55.9
7	生物学的製剤	315,352	100.0	315,352	100.0	304,523	96.6
8	抗生物質製剤	265,932	100.0	265,900	100.0	217,154	81.7
9	アレルギー用薬	263,709	100.0	261,015	99.0	122,215	46.3
10	感覚器官用薬	234,058	100.0	155,604	66.5	119,654	51.1
11	体外診断用医薬品	190,156	100.0	185,177	97.4	184,543	97.0
12	ビタミン剤	177,433	100.0	113,493	64.0	108,645	61.2
13	泌尿生殖器官及び肛門用薬	156,118	100.0	148,721	95.3	118,406	75.8
14	腫瘍用薬	152,796	100.0	152,796	100.0	92,246	60.4
15	滋養強壮薬	147,941	100.0	100,924	68.2	100,814	68.1
16	ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	139,935	100.0	139,644	99.8	84,624	60.5
17	漢方製剤	132,027	100.0	113,536	86.0	113,336	85.8
18	呼吸器官用薬	123,835	100.0	103,477	83.6	84,924	68.6
19	化学療法剤	115,418	100.0	114,994	99.6	83,306	72.2
20	診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）	54,184	100.0	54,184	100.0	17,647	32.6
21	人工透析用薬	48,103	100.0	48,103	100.0	48,103	100.0
22	末梢神経系用薬	40,638	100.0	40,198	98.9	34,154	84.0
23	放射性医薬品	33,481	100.0	33,481	100.0	33,179	99.1
24	その他の治療を主目的としない医薬品	22,687	100.0	21,228	93.6	10,395	45.8
25	公衆衛生用薬	22,554	100.0	4,649	20.6	4,649	20.6
	その他	63,993	100.0	46,342	72.4	44,489	69.5

(注) 医薬品薬効大分類の順位は、平成23年の生産金額の順による。



用途区別生産金額

品		そ の 他 の 医 薬 品					
輸 入※		小 計		一 般 用		配 置 用	
生産金額	構成比	生産金額	構成比	生産金額	構成比	生産金額	構成比
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
1,729,818	24.8	642,855	9.2	617,231	8.8	25,624	0.4
607,669	45.1	7,251	0.5	6,098	0.5	1,153	0.1
280,991	33.1	102,061	12.0	95,036	11.2	7,025	0.8
135,065	19.9	51,252	7.5	48,490	7.1	2,762	0.4
71,140	12.5	70,026	12.3	66,331	11.6	3,695	0.6
107,972	23.3	-	-	-	-	-	-
35,167	9.4	130,732	34.8	128,294	34.1	2,438	0.6
10,829	3.4	-	-	-	-	-	-
48,747	18.3	32	-	32	-	-	-
138,800	52.6	2,694	1.0	2,614	1.0	80	-
35,950	15.4	78,454	33.5	77,098	32.9	1,356	0.6
634	0.3	4,978	2.6	4,978	2.6	-	-
4,848	2.7	63,940	36.0	58,914	33.2	5,026	2.8
30,315	19.4	7,397	4.7	7,389	4.7	8	-
60,550	39.6	-	-	-	-	-	-
110	0.1	47,017	31.8	46,713	31.6	304	0.2
55,021	39.3	291	0.2	291	0.2	-	-
200	0.2	18,492	14.0	17,384	13.2	1,107	0.8
18,553	15.0	20,358	16.4	19,816	16.0	542	0.4
31,688	27.5	424	0.4	424	0.4	-	-
36,537	67.4	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
6,044	14.9	440	1.1	434	1.1	6	-
303	0.9	-	-	-	-	-	-
10,834	47.8	1,459	6.4	1,454	6.4	5	-
-	-	17,905	79.4	17,905	79.4	-	-
1,853	2.9	17,651	27.6	17,534	27.4	117	0.2

#### 4. 医薬品の地域別生産金額

都道府県別医薬品生産金額は、第22表のとおりであり、47都道府県のうち31都道府県が前年と比較して増加している。増加額が最も大きいのは富山県で1,017億円(21.5%)、減少額が最も大きいのは東京都で1,112億円(24.9%)となっている。

第22表 都道府県別医薬品生産金額

順位	都道府県名		生産金額		対前年増減		構成割合	
			平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
			百万円	百万円	百万円	%	%	%
	全	国	6,987,367	6,779,099	208,268	3.1	100.00	100.00
1	埼	玉	760,079	704,935	55,144	7.8	10.88	10.40
2	静	岡	589,524	524,767	64,757	12.3	8.44	7.74
3	富	山	575,412	473,737	101,674	21.5	8.24	6.99
4	大	阪	478,174	475,990	2,184	0.5	6.84	7.02
5	栃	木	360,309	337,963	22,345	6.6	5.16	4.99
6	東	京	335,442	446,640	-111,198	-24.9	4.80	6.59
7	神	奈 川	328,218	291,328	36,890	12.7	4.70	4.30
8	兵	庫	317,262	304,563	12,699	4.2	4.54	4.49
9	岐	阜	284,110	260,134	23,977	9.2	4.07	3.84
10	愛	知	260,152	291,176	-31,023	-10.7	3.72	4.30
11	滋	賀	250,585	228,390	22,196	9.7	3.59	3.37
12	徳	島	228,673	236,642	-7,969	-3.4	3.27	3.49
13	山	口	222,413	203,304	19,109	9.4	3.18	3.00
14	山	形	180,654	172,069	8,585	5.0	2.59	2.54
15	茨	城	170,238	182,999	-12,761	-7.0	2.44	2.70
16	岩	手	140,494	195,586	-55,093	-28.2	2.01	2.89
17	三	重	123,412	122,745	667	0.5	1.77	1.81
18	千	葉	110,760	112,308	-1,547	-1.4	1.59	1.66
19	福	岡	110,704	104,745	5,959	5.7	1.58	1.55
20	佐	賀	107,137	86,523	20,614	23.8	1.53	1.28
21	福	島	105,316	134,171	-28,855	-21.5	1.51	1.98
22	長	野	87,332	85,983	1,349	1.6	1.25	1.27
23	群	馬	80,414	95,124	-14,710	-15.5	1.15	1.40
24	山	梨	76,534	35,669	40,865	114.6	1.10	0.53
25	京	都	74,634	84,204	-9,570	-11.4	1.07	1.24
26	福	井	74,176	71,829	2,347	3.3	1.06	1.06
27	香	川	70,769	70,102	667	1.0	1.01	1.03
28	秋	田	68,584	49,092	19,493	39.7	0.98	0.72
29	石	川	64,586	69,359	-4,772	-6.9	0.92	1.02
30	岡	山	60,019	59,389	630	1.1	0.86	0.88
31	北	海 道	52,406	51,496	911	1.8	0.75	0.76
32	熊	本	46,353	46,317	36	0.1	0.66	0.68
33	奈	良	41,857	36,215	5,642	15.6	0.60	0.53
34	新	潟	36,168	22,794	13,374	58.7	0.52	0.34
35	愛	媛	27,492	27,267	225	0.8	0.39	0.40
36	大	分	26,054	26,647	-593	-2.2	0.37	0.39
37	宮	城	16,297	14,785	1,512	10.2	0.23	0.22
38	広	島	15,621	15,195	426	2.8	0.22	0.22
39	宮	崎	12,434	12,533	-99	-0.8	0.18	0.18
40	島	根	5,670	4,427	1,243	28.1	0.08	0.07
41	和	歌 山	4,532	4,281	251	5.9	0.06	0.06
42	沖	縄	2,314	1,511	803	53.1	0.03	0.02
43	青	森	1,674	1,845	-172	-9.3	0.02	0.03
44	鹿	児 島	1,175	1,273	-98	-7.7	0.02	0.02
45	長	崎	638	654	-16	-2.5	0.01	0.01
46	高	知	540	365	175	48.0	0.01	0.01
47	鳥	取	24	26	-2	-6.6	0.00	0.00

(注) 都道府県の順位は、平成23年の生産金額の順による。

## 5. 医薬品の従業者規模別及び生産規模別構成

### (1) 従業者規模別構成

- 1) 従業者規模別製造所数（月平均）の状況は第23表のとおりである。これによると、1,751製造所のうち1,270（72.5%）は従業者規模50人未満の製造所であり、50人以上300人未満の製造所は410（23.4%）、300人以上の製造所は71（4.0%）である。

第23表 従業者規模別製造所数（月平均）

従業者規模	製造所数		構成割合	
	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年
総数	1,751	1,766	100.0	100.0
9人以下	665	678	38.0	38.4
10～49	605	610	34.5	34.5
50～99	203	200	11.6	11.3
100～299	207	217	11.8	12.3
300～499	46	40	2.6	2.3
500～999	21	18	1.2	1.0
1000人以上	4	4	0.2	0.2

- 2) 従業者規模別生産金額（月平均）の状況は、第24表のとおりである。これによると、全体の72.5%を占める50人未満の製造所における生産金額は、2,635億円（5.4%）にすぎない。これに対し、従業員50人以上300人未満の製造所では2兆7,190億円（55.7%）、300人以上の製造所は1兆8,970億円（38.9%）を生産している。

第24表 従業者規模別生産金額（月平均）

従業者規模	生産金額		構成割合	
	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年
総数	4,879,537	4,807,681	100.0	100.0
9人以下	23,583	24,023	0.5	0.5
10～49	239,939	248,627	4.9	5.2
50～99	596,725	656,363	12.2	13.7
100～299	2,122,315	2,155,175	43.5	44.8
300～499	1,222,934	920,558	25.1	19.1
500～999	642,916	772,598	13.2	16.1
1000人以上	31,125	30,336	0.6	0.6

## (2) 生産規模別構成

医薬品の生産規模別製造所数及び生産金額は、第25表のとおりである。1ヶ月間における自社生産金額及び受託生産金額1億円未満の製造所数は1,424(81.3%)であるが、その生産金額は1,435億円で自社生産及び受託生産の総額の2.9%にすぎない。これに対し、1億円以上の製造所数は328(18.7%)であるが、その生産金額は4兆7,360億円で97.1%を占めている。

第25表 生産規模別製造所数及び生産金額

1ヶ月間の生産金額	製造等のあった製造所数				生産金額			
	月平均		構成割合		金額		構成割合	
	23年	22年	23年	22年	23年	22年	23年	22年
			%	%	百万円	百万円	%	%
総数	1,751	1,766	100.0	100.0	4,879,537	4,807,681	100.0	100.0
百万円未満	807	802	46.1	45.4	946	908	0.0	0.0
百万円～5百万円未満	254	267	14.5	15.1	7,309	7,880	0.1	0.2
5百万円～1千万円未満	84	86	4.8	4.9	7,208	7,443	0.1	0.2
1千万円～5千万円未満	199	206	11.3	11.7	59,235	61,431	1.2	1.3
5千万円～1億円未満	80	78	4.6	4.4	68,825	66,698	1.4	1.4
1億円～5億円未満	170	172	9.7	9.8	500,837	504,401	10.3	10.5
5億円～10億円未満	58	58	3.3	3.3	496,287	502,364	10.2	10.4
10億円以上	100	97	5.7	5.5	3,738,892	3,656,557	76.6	76.1

## 6. 医薬品の輸出入状況

医薬品の輸出入の統計は、輸入に関しては最終製品での輸入及び輸入製剤からの国内での小分け製造について医薬品製造販売事務所又は医薬品製造所からの報告により明らかにされているが、輸出に関しては医薬品製造販売事務所又は医薬品製造所からの報告であるため、商社等を通じての取引は把握されていない。また、最終製品以外の医薬品（バルク、原末等）の輸出入の調査は行っていない。したがって、以下に記述する金額を利用するにあたっては注意が必要である。

(1) 輸 出

平成23年における医薬品輸出金額は第26表に示すとおり1,384億円で、前年と比較すると61億円(4.2%)の減少となっている。

州別の輸出金額の推移は第27表に示すとおりで、北アメリカ州615億円(44.4%)、アジア州598億円(43.2%)、ヨーロッパ州132億円(9.5%)という順になっている。

主要国別、医療用医薬品薬効中分類別主要国別の輸出金額はそれぞれ第28表、第29表のとおりである。

第26表 医薬品輸出金額の推移

(指数 平成19年=100)

年	輸出金額	対前年増減		指 数
		増減額	比	
	百万円	百万円	%	%
平成19年	144,031	11,397	8.6	100.0
平成20年	162,620	18,589	12.9	112.9
平成21年	162,759	139	0.1	113.0
平成22年	144,463	-18,296	-11.2	100.3
平成23年	138,402	-6,061	-4.2	96.1

第27表 医薬品州別輸出金額の推移

(指数 平成19年=100)

州 名	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	輸出金額	指数	輸出金額	指数	輸出金額	指数	輸出金額	指数	輸出金額	指数
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
総 数	144,031	100.0	162,620	112.9	162,759	113.0	144,463	100.3	138,402	96.1
アジア州	48,501	100.0	52,723	108.7	50,352	103.8	60,327	124.4	59,802	123.3
ヨーロッパ州	19,354	100.0	18,673	96.5	14,626	75.6	14,013	72.4	13,182	68.1
北アメリカ州	71,490	100.0	84,615	118.4	92,052	128.8	63,641	89.0	61,466	86.0
南アメリカ州	691	100.0	901	130.4	478	69.2	1,076	155.7	1,228	177.7
アフリカ州	623	100.0	898	144.1	695	111.6	429	68.9	346	55.5
大 洋 州	219	100.0	190	86.8	69	31.5	64	29.2	74	33.8
そ の 他	3,153	100.0	4,619	146.5	4,487	142.3	4,912	155.8	2,303	73.0
(EU再掲)	16,865	100.0	13,565	80.4	11,007	65.3	10,083	59.8	9,715	57.6

第28表 医薬品主要国別輸出金額

順位	国名	輸 出 金 額		構 成 割 合	
		23年	22年	23年	22年
		百万円	百万円	%	%
	総 数	138,402	144,463	100.0	100.0
1	アメリカ合衆国	60,030	61,074	43.4	42.3
2	中華人民共和国	18,395	15,503	13.3	10.7
3	大韓民国	15,077	18,232	10.9	12.6
4	台湾	7,680	8,067	5.5	5.6
5	タイ	6,120	1,273	4.4	0.9
6	香港	4,469	9,689	3.2	6.7
7	ドイツ	4,108	3,956	3.0	2.7
8	ヨルダン	1,796	2,161	1.3	1.5
9	マレーシア	1,527	1,011	1.1	0.7
10	ロシア	1,442	915	1.0	0.6
	そ の 他	17,757	22,583	12.8	15.6

第29表 医療用医薬品薬効中分類別主要国別輸出金額

順位	薬効分類	輸出金額		構成割合		主な輸出国及び金額（上位5カ国）
		23年	22年	23年	22年	
	総数	百万円 126,939	百万円 134,392	% 100.0	% 100.0	— 百万円
1	生化学的検査用剤	30,460	28,942	24.0	21.5	アメリカ合衆国 28,739 フランス 338 ドイツ 241 中華人民共和国 206 オランダ 127
2	他に分類されない代謝性医薬品	19,168	21,732	15.1	16.2	アメリカ合衆国 13,430 ヨルダン 1,344 中華人民 共和国 1,269 大韓民国 894 カナダ 839
3	局所麻酔剤	11,731	12,553	9.2	9.3	アメリカ合衆国 10,215 ドイツ 1,491 大韓民国 13 スイス 12
4	主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	8,089	7,110	6.4	5.3	中華人民共和国 4,480 台湾 1,650 タイ 393 大 韓民国 390 ベネズエラ 382
5	抗腫瘍性抗生物質製剤	5,559	5,337	4.4	4.0	ドイツ 1,124 英国 930 中華人民共和国 649 ス 페인 509 イタリア 266
6	その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	4,398	1,194	3.5	0.9	タイ 3,541 イタリア 433 オランダ 215 大韓民 国 205 台湾 5
7	眼科用剤	3,478	3,062	2.7	2.3	大韓民国 2,008 中華人民共和国 825 ベトナム 251 台湾 116 ベルギー 9
8	鎮痛、鎮痙、収斂、消炎剤	3,362	2,802	2.6	2.1	アメリカ合衆国 3,032 イタリア 189 香港 48 ポ ルトガル 29 スイス 27
9	主としてカビに作用する抗生物質製剤	3,275	5,099	2.6	3.8	アメリカ合衆国 1,926 中華人民共和国 863 大韓民 国 159 台湾 139 ブラジル 46
10	抗腫瘍性植物成分製剤	3,267	2,354	2.6	1.8	ロシア 1,014 中華人民共和国 535 ドイツ 291 ヨルダン 215 エジプト 213
11	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	2,857	3,503	2.3	2.6	大韓民国 2,636 台湾 182 中華人民共和国 39
12	免疫血清学的検査用剤	2,467	4,585	1.9	3.4	アメリカ合衆国 471 ドイツ 438 大韓民国 314 中華人民共和国 273 フランス 229
13	ワクチン類	2,269	1,784	1.8	1.3	インドネシア 631 大韓民国 298 メキシコ 213 ブラジル 205 インド 183
14	代謝拮抗剤	2,001	1,900	1.6	1.4	中華人民共和国 1,127 大韓民国 623 台湾 158 英国 52 ドイツ 41
15	ビタミンB剤（ビタミンB1剤を除く。）	1,744	1,474	1.4	1.1	中華人民共和国 723 サウジアラビア 235 インド 212 ヨルダン 166 アラブ首長国連邦 98
16	その他の血液・体液用薬	1,692	2,437	1.3	1.8	大韓民国 918 台湾 768 タイ 3 フィリピン 2
17	消化性潰瘍用剤	1,594	990	1.3	0.7	大韓民国 785 中華人民共和国 582 台湾 214 ア ジア州 6 タイ 4
18	高脂血症用剤	1,526	1,071	1.2	0.8	大韓民国 1,313 タイ 121 中華人民共和国 81 台 湾 13
19	血管拡張剤	1,481	2,023	1.2	1.5	中華人民共和国 632 トルコ 385 台湾 315 ミヤ ンマー 8 フィリピン 8
20	合成抗菌剤	1,279	6,271	1.0	4.7	タイ 1,105 香港 174
	その他	15,242	18,169	12.0	13.5	—

## (2) 輸 入

平成23年における医薬品輸入金額は第30表に示すとおり2兆5,313億円で、前年の2兆3,166億円と比較すると2,147億円(9.3%)の増加となっている。

州別の輸入金額は第31表に示すとおりで、ヨーロッパ州1兆8,249億円(72.1%)、北アメリカ州5,997億円(23.7%)、アジア州886億円(3.5%)、という順になっている。

主要国別、医療用医薬品薬効中分類別主要国別の輸入金額はそれぞれ第32表、第33表のとおりである。

第30表 医薬品輸入金額の推移

(指数 平成19年=100)

年	輸入金額	対 前 年 増 減		指 数
		増 減 額	増 減 比	
	百万円	百万円	%	
平成19年	1,708,394	143,567	9.2	100.0
平成20年	1,859,438	151,044	8.8	108.8
平成21年	2,126,464	267,026	14.4	124.5
平成22年	2,316,552	190,088	8.9	135.6
平成23年	2,531,292	214,740	9.3	148.2



第31表 医薬品州別輸入金額の推移

州名	輸入金額		構成割合	
	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	%	%
総数	2,531,292	2,316,552	100.0	100.0
アジア州	88,565	76,841	3.5	3.3
ヨーロッパ州	1,824,928	1,684,100	72.1	72.7
北アメリカ州	599,735	535,963	23.7	23.1
南アメリカ州	-	-	-	-
アフリカ州	-	-	-	-
大洋州	17,659	19,159	0.7	0.8
その他	405	488	-	-
(EU再掲)	1,344,102	1,213,588	53.1	52.4

第32表 医薬品主要国別輸入金額

順位	国名	輸 入 金 額		構 成 割 合	
		平成23年	平成22年	平成23年	平成22年
		百万円	百万円	%	%
	総 数	2,531,292	2,316,552	100.0	100.0
1	アメリカ合衆国	489,373	383,615	19.3	16.6
2	スイス	470,384	461,345	18.6	19.9
3	ドイツ	305,676	272,815	12.1	11.8
4	ベルギー	183,653	158,614	7.3	6.8
5	イタリア	171,306	118,049	6.8	5.1
6	英国	168,605	169,203	6.7	7.3
7	フランス	163,659	164,405	6.5	7.1
8	プエルトリコ(米)	98,856	89,035	3.9	3.8
9	デンマーク	82,708	80,190	3.3	3.5
10	スペイン	69,288	82,620	2.7	3.6
	そ の 他	327,785	336,661	12.9	14.5

第33表 医療用医薬品薬効中分類別主要国別輸入金額

順位	薬効分類	輸入金額		構成割合		主な輸入国及び金額（上位5カ国） 百万円
		23年 百万円	22年 百万円	23年 %	22年 %	
	総数	2,516,229	2,301,536	100.0	100.0	—
1	その他の腫瘍用薬	394,466	355,410	15.7	15.4	スイス 209,995 アメリカ合衆国 73,684 ドイツ 63,049 英国 25,156 ベルギー 10,808
2	糖尿病用剤	151,082	102,651	6.0	4.5	イタリア 59,254 デンマーク 48,640 ドイツ 17,537 フランス 16,309 スイス 8,282
3	ワクチン類	131,712	110,255	5.2	4.8	ベルギー 74,317 アメリカ合衆国 57,396
4	他に分類されない代謝性医薬品	122,394	113,284	4.9	4.9	スイス 42,964 ドイツ 41,691 スペイン 14,045 プエルトリコ（米） 8,742 アメリカ合衆国 6,206
5	その他のアレルギー用薬	119,911	96,540	4.8	4.2	アメリカ合衆国 69,965 スイス 43,384 英国 5,825 フランス 676 インド 61
6	抗ウイルス剤	116,385	176,680	4.6	7.7	イタリア 35,385 アメリカ合衆国 23,884 スペイン 18,072 スイス 10,466 プエルトリコ（米） 9,091
7	その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	112,296	103,556	4.5	4.5	英国 35,423 スイス 22,378 ドイツ 17,390 ア メリカ合衆国 15,082 プエルトリコ（米） 14,935
8	高脂血症用剤	100,990	96,550	4.0	4.2	プエルトリコ（米） 52,688 シンガポール 48,277 台湾 25
9	精神神経用剤	100,154	94,960	4.0	4.1	英国 36,685 スペイン 21,206 アメリカ合衆国 19,150 オランダ 10,065 イタリア 7,624
10	その他の消化器官用薬	87,198	83,497	3.5	3.6	アメリカ合衆国 78,894 アイルランド 3,737 チェコ 2,208 カナダ 1,184 オーストラリア 767
11	その他の呼吸器官用薬	73,458	67,867	2.9	2.9	フランス 47,549 スウェーデン 15,285 オースト ラリア 5,568 スイス 3,372 英国 1,263
12	代謝拮抗剤	63,208	57,129	2.5	2.5	フランス 31,787 アメリカ合衆国 26,526 イタリア 2,362 ベルギー 2,066 英国 166
13	眼科用剤	60,132	93,992	2.4	4.1	ベルギー 30,382 スイス 21,117 フィンランド 3,479 スウェーデン 2,544 ドイツ 1,328
14	脳下垂体ホルモン剤	59,335	57,041	2.4	2.5	デンマーク 20,684 スウェーデン 12,108 フラン ス 11,496 ベルギー 7,637 スイス 4,184
15	免疫血清学的検査用剤	57,965	56,015	2.3	2.4	アメリカ合衆国 34,611 スイス 10,086 スウェー デン 8,223 英国 3,027 ドイツ 1,189
16	その他の循環器官用薬	47,751	30,302	1.9	1.3	スイス 15,379 イタリア 13,199 アイルランド 12,070 フランス 3,439 アメリカ合衆国 1,112
17	その他の中枢神経系用薬	43,738	6,263	1.7	0.3	ドイツ 35,566 フランス 4,695 イタリア 2,671 スイス 716 ベルギー 91
18	アルキル化剤	41,648	41,991	1.7	1.8	フィンランド 33,258 ベルギー 3,697 イタリア 2,716 ドイツ 1,134 アメリカ合衆国 561
19	抗腫瘍性植物成分製剤	37,354	38,883	1.5	1.7	英国 21,022 イタリア 12,806 フランス 1,595 アメリカ合衆国 1,248 オーストリア 541
20	その他の生物学的製剤	34,892	40,102	1.4	1.7	アイルランド 15,086 スイス 11,877 ドイツ 6,334 アメリカ合衆国 1,359 カナダ 236
	その他	560,158	478,566	22.3	20.8	—

## Ⅱ 衛生材料

### 1. 衛生材料の生産状況

平成23年における衛生材料生産金額は第34表のとおり518億円で、前年520億円と比較すると2億円（0.4%）の減少となっている。これを品目別生産金額でみると第35表に示すとおりで、大判製品は9.8%の減少、最終製品は0.4%の増加となっている。

第34表 衛生材料生産金額の推移

(指数 平成19年=100)

年	生産金額	対前年増減		指数	月平均生産金額
		増減額	比		
	百万円	百万円	%	%	百万円
平成19年	53,799	-1,013	-1.8	100.0	4,483
平成20年	54,217	418	0.8	100.8	4,518
平成21年	53,903	-314	-0.6	100.2	4,492
平成22年	52,011	-1,892	-3.5	96.7	4,334
平成23年	51,804	-207	-0.4	96.3	4,317

第35表 衛生材料の生産金額

品名	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成23年	平成22年	増減額	比率	平成23年	平成22年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	51,804	52,011	-207	-0.4	100.0	100.0
A 大判製品	3,782	4,193	-411	-9.8	7.3	8.1
A1 医療脱脂綿	1,289	1,475	-186	-12.6	2.5	2.8
A2 医薬部外品脱脂綿	74	122	-48	-39.2	0.1	0.2
A3 医療ガーゼ	2,419	2,596	-177	-6.8	4.7	5.0
B 最終製品	48,022	47,818	204	0.4	92.7	91.9
B1 生理処理用品	48,022	47,818	204	0.4	92.7	91.9

注：1）医療脱脂綿、医療ガーゼはそれぞれ医療機器である脱脂綿、ガーゼをいう。

2）医薬部外品脱脂綿、生理処理用品はそれぞれ医薬部外品である脱脂綿、生理処理用ナプキンをいう。

## 2. 衛生材料の地域別生産状況

衛生材料地域別生産金額は第36表に示すとおりである。これによると、関東越静地域263億円（50.7%）が最も多く、次いで四国地域203億円（39.2%）、北海道東北26億円（5.0%）であり、この3地域で94.9%を占めている。

第36表 衛生材料地域別生産金額

地 域	製造所数 (月平均)	生 産 金 額		構 成 割 合	
		23年	22年	23年	22年
		百万円	百万円	%	%
総 数	27	51,804	52,011	100.0	100.0
北海道 東北	×	2,604	3,022	5.0	5.8
関東 越静	8	26,251	27,316	50.7	52.5
東海 北陸	3	98	116	0.2	0.2
近 畿	×	2,178	2,188	4.2	4.2
中 国	3	263	259	0.5	0.5
四 国	8	20,330	18,999	39.2	36.5
九 州	3	80	111	0.2	0.2

### Ⅲ 医療機器

平成23年における医療機器の国内での生産金額は1兆8,085億円、輸入金額は1兆584億円であり、合計金額は2兆8,668億円であった。これに対し、輸出金額は4,809億円であった。

#### 1. 医療機器の生産状況

(1) 医療機器の最近10ヶ年の生産金額の推移は第37表のとおりである。

平成23年の生産金額は前年と比較して950億円(5.5%)の増加となっている。過去10年の推移をみると、14年は0.9%の減少、15年は0.3%の減少とマイナス成長となった。しかし、16年には2.4%、17年は2.5%、18年は7.4%の増加と連続してプラス成長をみせた。19年は0.2%の減少、20年は0.5%の増加、21年は6.9%の減少となったが、平成22年は8.7%の増加、平成23年は5.5%の増加となった。

第37表 医療機器生産金額の推移

(指数 平成14年=100)

年	生産金額 百万円	対前年増減		指数 %	月平均生産金額 百万円
		増減額 百万円	比 %		
平成14年	1,503,507	-13,482	-0.9	100.0	125,292
平成15年	1,498,918	-4,589	-0.3	99.7	124,910
平成16年	1,534,365	35,447	2.4	102.1	127,864
平成17年	1,572,401	38,036	2.5	104.6	131,033
平成18年	1,688,344	115,943	7.4	112.3	140,695
平成19年	1,684,465	-3,879	-0.2	112.0	140,372
平成20年	1,692,352	7,887	0.5	112.6	141,029
平成21年	1,576,198	-116,154	-6.9	104.8	131,350
平成22年	1,713,439	137,241	8.7	114.0	142,787
平成23年	1,808,476	95,037	5.5	120.3	150,706

(2) 医療機器大分類別生産金額は第38表のとおりである。最も生産金額の大きいものは処置用機器の4,374億円(24.2%)であり、次いで画像診断システムの2,681億円(14.8%)、生体機能補助・代行機器の2,659億円(14.7%)、生体現象計測・監視システムの2,276億円(12.6%)、医用検体検査機器の1,452億円(8.0%)、歯科材料の1,178億円(6.5%)、家庭用医療機器の900億円(5.0%)、画像診断用X線関連装置及び用具の728億円(4.0%)という順になっている。

第38表 医療機器大分類別生産金額

順位	大分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		23年 百万円	22年 百万円	増減額 百万円	比 %	23年 %	22年 %
	総数	1,808,476	1,713,439	95,037	5.5	100.0	100.0
1	処置用機器	437,399	427,749	9,650	2.3	24.2	25.0
2	画像診断システム	268,054	274,296	-6,242	-2.3	14.8	16.0
3	生体機能補助・代行機器	265,944	228,771	37,172	16.2	14.7	13.4
4	生体現象計測・監視システム	227,581	209,071	18,511	8.9	12.6	12.2
5	医用検体検査機器	145,221	103,515	41,706	40.3	8.0	6.0
6	歯科材料	117,791	112,074	5,717	5.1	6.5	6.5
7	家庭用医療機器	89,975	94,706	-4,731	-5.0	5.0	5.5
8	画像診断用X線関連装置及び用具	72,782	78,595	-5,813	-7.4	4.0	4.6
9	眼科用品及び関連製品	50,879	58,841	-7,962	-13.5	2.8	3.4
10	歯科用機器	44,013	43,350	663	1.5	2.4	2.5
11	治療用又は手術用機器	42,348	41,889	459	1.1	2.3	2.4
12	施設用機器	26,059	22,211	3,848	17.3	1.4	1.3
13	鋼製器具	15,566	13,913	1,653	11.9	0.9	0.8
14	衛生材料及び衛生用品	4,864	4,459	405	9.1	0.3	0.3

(注) 大分類の順位は、平成23年の生産金額の順による。

(3) 年間100億円以上の医療機器小分類別生産金額は第39表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは滅菌済み血管用チューブ及びカテーテルの1,295億円(7.2%)であり、次いで採血・輸血用器具の971億円(5.4%)、透析器の820億円(4.5%)、電子内視鏡の681億円(3.8%)、臨床化学自動分析装置の668億円(3.7%)、歯科用金銀パラジウム合金583億円(3.2%)の順である。

第39表 医療機器小分類別生産金額

順位	小分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		23年	22年	増減額	比	23年	22年
	総数	百万円 1,808,476	百万円 1,713,439	百万円 95,037	% 5.5	% 100.0	% 100.0
1	滅菌済み血管用チューブ及びカテーテル	129,460	119,084	10,375	8.7	7.2	7.0
2	採血・輸血用器具	97,149	101,082	-3,933	-3.9	5.4	5.9
3	透析器	82,020	80,472	1,548	1.9	4.5	4.7
4	電子内視鏡	68,102	55,778	12,324	22.1	3.8	3.3
5	臨床化学自動分析装置	66,803	34,786	32,017	92.0	3.7	2.0
6	歯科用金銀パラジウム合金	58,285	49,128	9,157	18.6	3.2	2.9
7	全身用X線CT装置	56,915	58,324	-1,409	-2.4	3.2	3.4
8	医用写真フィルム	56,657	59,217	-2,560	-4.3	3.1	3.5
9	汎用超音波画像診断装置	44,904	47,165	-2,261	-4.8	2.5	2.8
10	ステント	38,035	14,958	23,077	154.3	2.1	0.9
11	内視鏡用医用電気機器	34,198	32,554	1,644	5.1	1.9	1.9
12	その他のコンタクトレンズ	33,315	30,187	3,128	10.4	1.8	1.8
13	人工関節、人工骨及び関連用品	30,362	26,158	4,204	16.1	1.7	1.5
14	医薬品注入器	27,827	26,463	1,364	5.2	1.5	1.5
15	血球計数装置	26,138	20,554	5,584	27.2	1.5	1.2
16	滅菌済み注射針	25,075	23,382	1,693	7.2	1.4	1.4
17	家庭用マッサージ器	24,744	22,208	2,537	11.4	1.4	1.3
18	他に分類されない処置用機器	24,273	24,015	258	1.1	1.3	1.4
19	人工腎臓装置	23,876	22,315	1,560	7.0	1.3	1.3
20	X線透視撮影装置	23,058	26,219	-3,161	-12.1	1.3	1.5
21	酸素供給装置	21,167	19,995	1,172	5.9	1.2	1.2
22	輸液用器具	20,993	20,224	769	3.8	1.2	1.2
23	血液浄化器	18,883	22,071	-3,188	-14.4	1.0	1.3
24	滅菌済み消化器用チューブ及びカテーテル	18,793	16,903	1,891	11.2	1.0	1.0
25	内視鏡用非能動処置具	17,142	15,682	1,460	9.3	1.0	0.9
26	超電導式磁気共鳴画像診断装置	16,887	18,137	-1,250	-6.9	0.9	1.1
27	眼撮影装置	16,712	16,661	51	0.3	0.9	1.0
28	家庭用磁気治療器	16,122	19,732	-3,610	-18.3	0.9	1.2
29	人工心肺装置	15,740	13,412	2,327	17.4	0.9	0.8
30	歯科用ユニット	15,552	16,178	-625	-3.9	0.9	0.9
31	コンピューテッドラジオグラフ	15,487	22,644	-7,157	-31.6	0.9	1.3
32	滅菌済み穿刺針	15,330	14,986	344	2.3	0.9	0.9
33	その他の超音波画像診断装置	15,236	9,261	5,975	64.5	0.8	0.5
34	滅菌済み注射筒	15,146	15,334	-187	-1.2	0.8	0.9
35	その他の視力補正用眼鏡レンズ	14,873	24,217	-9,344	-38.6	0.8	1.4
36	歯科充填用材料	13,204	13,722	-518	-3.8	0.7	0.8
37	免疫反応測定装置	12,990	12,951	40	0.3	0.7	0.8
38	循環器用X線診断装置	12,688	14,611	-1,923	-13.2	0.7	0.9
39	視覚機能検査用機器	12,348	12,755	-408	-3.2	0.7	0.7
40	デジタルラジオグラフ	11,290	5,188	6,102	117.6	0.6	0.3
41	家庭用電気治療器	10,847	12,584	-1,737	-13.8	0.6	0.7
42	歯科用駆動装置及びハンドピース	10,236	9,277	959	10.3	0.6	0.5
43	滅菌済み血液浄化用ブラッドアクセス	10,014	9,765	249	2.6	0.6	0.6

(注) 医療機器小分類の順位は、平成23年の生産金額の順によるものであり、生産金額が100億円以上のものである。

## 2. 医療機器の地域別生産状況

医療機器の都道府県別生産金額は、第40表のとおりであり、33県が前年と比較して増加となっている。



第40表 都道府県別医療機器生産金額

都道府県名			生産金額		対前年増減		構成割合	
			23年	22年	増減額	比	23年	22年
			百万円	百万円	百万円	%	%	%
	全	国	1,808,476	1,713,439	95,037	5.5	100.00	100.00
1	静	岡	344,864	306,905	37,959	12.4	19.07	17.91
2	栃	木	164,655	162,911	1,745	1.1	9.10	9.51
3	東	京	114,422	120,365	-5,943	-4.9	6.33	7.02
4	大	分	112,083	118,168	-6,085	-5.1	6.20	6.90
5	福	島	97,639	91,128	6,511	7.1	5.40	5.32
6	茨	城	92,633	75,950	16,684	22.0	5.12	4.43
7	千	葉	90,865	97,315	-6,450	-6.6	5.02	5.68
8	埼	玉	84,958	81,310	3,647	4.5	4.70	4.75
9	山	梨	63,216	68,313	-5,097	-7.5	3.50	3.99
10	滋	賀	57,973	53,232	4,741	8.9	3.21	3.11
11	兵	庫	57,388	53,153	4,235	8.0	3.17	3.10
12	愛	知	50,173	51,532	-1,360	-2.6	2.77	3.01
13	京	都	39,615	46,613	-6,999	-15.0	2.19	2.72
14	秋	田	37,665	33,556	4,109	12.2	2.08	1.96
15	青	森	35,945	33,802	2,142	6.3	1.99	1.97
16	岐	阜	33,487	28,654	4,833	16.9	1.85	1.67
17	神	奈 川	32,645	24,130	8,515	35.3	1.81	1.41
18	群	馬	29,961	21,178	8,783	41.5	1.66	1.24
19	岩	手	26,647	22,659	3,987	17.6	1.47	1.32
20	長	野	21,490	21,508	-18	-0.1	1.19	1.26
21	大	阪	21,327	20,350	977	4.8	1.18	1.19
22	宮	城	17,933	10,665	7,268	68.1	0.99	0.62
23	山	形	17,858	16,688	1,170	7.0	0.99	0.97
24	高	知	16,879	14,584	2,294	15.7	0.93	0.85
25	山	口	15,845	10,985	4,860	44.2	0.88	0.64
26	宮	崎	15,356	14,392	965	6.7	0.85	0.84
27	岡	山	14,669	15,222	-553	-3.6	0.81	0.89
28	石	川	11,949	12,705	-756	-5.9	0.66	0.74
29	島	根	11,163	8,677	2,486	28.7	0.62	0.51
30	福	岡	10,430	11,380	-950	-8.3	0.58	0.66
31	奈	良	9,604	8,847	757	8.6	0.53	0.52
32	広	島	9,446	9,013	433	4.8	0.52	0.53
33	熊	本	8,014	7,749	265	3.4	0.44	0.45
34	鳥	取	7,421	7,222	199	2.8	0.41	0.42
35	徳	島	7,008	6,881	127	1.8	0.39	0.40
36	北	海 道	5,378	5,347	31	0.6	0.30	0.31
37	富	山	3,984	3,995	-11	-0.3	0.22	0.23
38	香	川	3,859	3,388	471	13.9	0.21	0.20
39	三	重	3,595	3,486	110	3.2	0.20	0.20
40	愛	媛	2,687	2,238	449	20.1	0.15	0.13
41	福	井	1,959	1,616	343	21.2	0.11	0.09
42	新	潟	1,420	3,308	-1,888	-57.1	0.08	0.19
43	長	崎	962	892	70	7.8	0.05	0.05
44	佐	賀	926	1,077	-150	-14.0	0.05	0.06
45	鹿	児 島	453	320	133	41.6	0.03	0.02
46	和	歌 山	29	31	-2	-7.4	0.00	0.00
46	沖	縄	1	-	1	-	0.00	0.00

### 3. 医療機器の生産規模別構成

医療機器の生産規模別製造所数及び生産金額は、第41表のとおりである。1ヶ月間における生産金額1億円未満の製造所数は1,231(88.2%)であるが、その生産金額は1,529億円で自社生産及び受託生産の総額の9.3%にすぎない。これに対し、1億円以上の製造所数は164(11.8%)であるが、その生産金額は1兆4,855億円で90.7%を占めている。

第41表 生産規模別医療機器製造所数及び生産金額

1ヵ月間の生産金額	製造等のあった製造所数				生産金額			
	月平均		構成割合		金額		構成割合	
	23年	22年	23年	22年	23年	22年	23年	22年
総数	1,395	1,441	100.0	100.0	1,638,439	1,569,830	100.0	100.0
百万円未満	589	617	42.2	42.8	974	1,006	0.1	0.1
百万円～5百万円未満	225	242	16.1	16.8	6,746	7,405	0.4	0.5
5百万円～1千万円未満	104	105	7.5	7.3	9,067	9,192	0.6	0.6
1千万円～5千万円未満	229	227	16.4	15.8	63,411	62,693	3.9	4.0
5千万円～1億円未満	84	86	6.0	6.0	72,751	74,541	4.4	4.7
1億円～5億円未満	116	118	8.3	8.2	316,974	313,783	19.3	20.0
5億円～10億円未満	21	19	1.5	1.3	183,584	169,455	11.2	10.8
10億円以上	27	27	1.9	1.9	984,932	931,754	60.1	59.4

### 4. 医療機器の輸出入状況

#### (1) 輸出

1) 医療機器の最近5ヶ年の輸出金額は第42表のとおりである。

平成23年における輸出金額は4,809億円であり、前年の4,534億円と比較して275億円(6.1%)の増加となっている。大分類別輸出金額についてみると第43表のとおりである。最も金額の大きなものは、画像診断システムの1,221億円(25.4%)であり、次いで医用検体検査機器の985億円(20.5%)、処置用機器の921億円(19.2%)、の順になっている。これら上位3品目で全体の65.0%を占めている。

2) 医療機器州別輸出金額の状況は、第44表のとおりである。

3) 医療機器国別輸出金額の状況は、第45表のとおりであり、アメリカ合衆国に18.4%、ドイツに12.6%、中華人民共和国に11.2%、オランダに7.1%という順になっている。

第42表 医療機器輸出金額の推移

(指数 平成19年=100)

年	輸 出 金 額	対 前 年 増 減		指 数
		増 減 額	比	
	百万円	百万円	%	%
平成19年	575,054	47,528	9.0	100.0
平成20年	559,160	-15,894	-2.8	97.2
平成21年	475,155	-84,005	-15.0	82.6
平成22年	453,360	-21,795	-4.6	78.8
平成23年	480,851	27,491	6.1	83.6

第43表 医療機器大分類別主要国別輸出金額

順位	大分類	輸出金額		構成割合		主な輸出先国及び金額（上位5カ国）
		23年	22年	23年	22年	
	総 数	百万円 480,851	百万円 453,360	% 100.0	% 100.0	百万円
1	画像診断システム	122,074	124,507	25.4	27.5	アメリカ合衆国26,439 オランダ21,498 中華人民共和国20,701 ドイツ6,589 大韓民国3,530
2	医用検体検査機器	98,517	62,774	20.5	13.9	ドイツ41,773 アメリカ合衆国14,192 中華人民共和国6,658 イタリア1,430 大韓民国995
3	処置用機器	92,128	97,214	19.2	21.4	アメリカ合衆国18,762 ベルギー6,589 中華人民共和国4,661 ドイツ3,155 デンマーク1,423
4	生体機能補助・代行機器	51,189	53,502	10.7	11.8	中華人民共和国8,197 ベルギー5,872 アメリカ合衆国5,059 ドイツ2,299 台湾1,506
5	生体現象計測・監視システム	43,363	36,718	9.0	8.1	アメリカ合衆国8,549 オランダ7,295 中華人民共和国4,071 シンガポール2,484 ドイツ2,319
6	画像診断用X線関連装置及び用具	29,344	33,580	6.1	7.4	中華人民共和国5,418 オランダ3,985 アメリカ合衆国3,400 インド2,782 ブラジル1,438
7	歯科用機器	14,889	14,173	3.1	3.1	アメリカ合衆国4,258 ドイツ1,838 中華人民共和国1,062 ロシア700 大韓民国580
8	歯科材料	8,513	8,299	1.8	1.8	アメリカ合衆国1,569 ドイツ1,381 大韓民国1,022 イタリア418 ロシア389
9	家庭用医療機器	6,802	6,836	1.4	1.5	中華人民共和国1,417 アメリカ合衆国1,355 香港894 大韓民国651 台湾578
10	施設用機器	4,642	4,513	1.0	1.0	アメリカ合衆国2,944 中華人民共和国747 オランダ191 タイ114 ロシア93
	その他	9,390	11,243	2.0	2.5	-

第44表 医療機器州別輸出金額の推移

(指数 平成19年=100)

州名	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	輸出金額	指数	輸出金額	指数	輸出金額	指数	輸出金額	指数	輸出金額	指数
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
総数	575,054	100.0	559,160	97.2	475,155	82.6	453,360	78.8	480,851	83.6
アジア州	99,358	100.0	107,367	108.1	91,262	91.9	106,240	106.9	110,331	111.0
ヨーロッパ州	162,047	100.0	171,544	105.9	131,135	80.9	110,247	68.0	136,069	84.0
北アメリカ州	174,239	100.0	144,463	82.9	122,172	70.1	97,756	56.1	95,514	54.8
南アメリカ州	19,723	100.0	16,830	85.3	13,029	66.1	14,348	72.7	15,371	77.9
アフリカ州	8,273	100.0	7,823	94.6	6,227	75.3	6,021	72.8	7,055	85.3
大洋州	11,365	100.0	9,224	81.2	7,156	63.0	6,226	54.8	6,348	55.9
その他	100,050	100.0	101,909	101.9	104,173	104.1	112,523	112.5	110,161	110.1
(EU再掲)	137,507	100.0	146,724	106.7	117,266	85.3	97,554	70.9	123,517	89.8

第45表 医療機器主要国別輸出金額

順位	国名	輸 出 金 額		構 成 割 合	
		23年	22年	23年	22年
		百万円	百万円	%	%
	総数	480,851	453,360	100.0	100.0
1	アメリカ合衆国	88,291	88,923	18.4	19.6
2	ドイツ	60,827	38,424	12.6	8.5
3	中華人民共和国	53,780	48,489	11.2	10.7
4	オランダ	34,003	27,853	7.1	6.1
5	ベルギー	14,245	15,192	3.0	3.4
6	大韓民国	11,170	11,043	2.3	2.4
7	ブラジル	7,886	7,386	1.6	1.6
8	インド	6,357	6,361	1.3	1.4
9	オーストラリア	6,048	6,054	1.3	1.3
10	台湾	5,774	7,117	1.2	1.6
	その他	192,470	196,518	40.0	43.3

(2) 輸入

1) 医療機器の最近5ヶ年の輸入金額は第46表のとおりである。

平成23年における輸入金額は1兆584億円であり、前年の1兆554億円と比較して30億円(0.3%)の増加となっている。大分類別輸入金額についてみると第47表のとおりである。最も金額の大きなものは、生体機能補助・代行機器3,103億円(29.3%)であり、次いで、処置用機器2,350億円(22.2%)、眼科用品及び関連製品1,603億円(15.1%)、画像診断システム914億円(8.6%)の順になっている。これら上位4品目で全体の75.3%を占めている。

2) 医療機器州別輸入金額の状況は、第48表のとおりである。

3) 医療機器国別輸入金額の状況は、第49表のとおりであり、アメリカ合衆国から48.7%、アイルランドから11.8%、ドイツ8.5%という順になっている。

第46表 医療機器輸入金額の推移

(指数 平成19年=100)

年	輸 入 金 額	対 前 年 増 減		指 数
		増 減 額	比	
	百万円	百万円	%	%
平成19年	1,021,974	-75,893	-6.9	100.0
平成20年	1,090,749	68,775	6.7	106.7
平成21年	1,074,964	-15,785	-1.4	105.2
平成22年	1,055,418	-19,546	-1.8	103.3
平成23年	1,058,373	2,955	0.3	103.6

第47表 医療機器大分類別主要国別輸入金額

順位	大分類	輸 入 金 額		構 成 割 合		主な輸入国及び金額（上位5カ国）
		23年	22年	23年	22年	
		百万円	百万円	%	%	百万円
1	総数 生体機能補助・代行機器	1,058,373 310,280	1,055,418 337,998	100.0 29.3	100.0 32.0	- アメリカ合衆国 157,898 スイス 27,745 アイルランド 25,938 フランス 23,637 ドイツ 17,648
2	処置用機器	234,950	243,835	22.2	23.1	アメリカ合衆国 169,722 英国 11,915 マレーシア 8,624 タイ 6,822 オランダ 6,264
3	眼科用品及び関連製品	160,325	144,920	15.1	13.7	アイルランド 85,756 アメリカ合衆国 21,054 プエルトリコ（米） 12,482 シンガポール 10,742 タイ 9,058
4	画像診断システム	91,350	65,642	8.6	6.2	アメリカ合衆国 47,932 ドイツ 34,330 中華人民共和国 5,676 フィンランド 1,778 フランス 1,277
5	治療用又は手術用機器	71,864	84,482	6.8	8.0	アメリカ合衆国 50,118 ドイツ 12,504 英国 2,252 オーストラリア 2,040 中華人民共和国 1,935
6	生体現象計測・監視システム	56,844	51,306	5.4	4.9	アメリカ合衆国 24,789 中華人民共和国 16,525 ドイツ 4,019 フランス 3,495 ドミニカ共和国 2,850
7	歯科材料	29,271	22,091	2.8	2.1	アイルランド 7,659 アメリカ合衆国 5,562 スウェーデン 4,929 スイス 3,820 ドイツ 2,717
8	鋼製器具	28,950	29,967	2.7	2.8	アメリカ合衆国 19,628 スイス 2,858 ドイツ 2,099 フランス 682 スウェーデン 606
9	家庭用医療機器	27,809	25,454	2.6	2.4	中華人民共和国 8,745 デンマーク 5,463 シンガポール 3,764 スイス 3,746 マレーシア 2,043
10	歯科用機器	14,147	13,054	1.3	1.2	ドイツ 6,879 アメリカ合衆国 3,768 スイス 1,012 スウェーデン 725 カナダ 446
	その他	32,581	36,669	3.1	3.5	-

第48表 医療機器州別輸入金額の推移

(指数 平成19年=100)

州名	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	輸入金額	指数	輸入金額	指数	輸入金額	指数	輸入金額	指数	輸入金額	指数
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
総数	1,021,974	100.0	1,090,749	106.7	1,074,964	105.2	1,055,418	103.3	1,058,373	103.6
アジア州	151,684	100.0	137,274	90.5	140,762	92.8	135,368	89.2	146,336	96.5
ヨーロッパ州	285,480	100.0	297,087	104.1	315,665	110.6	327,670	114.8	355,181	124.4
北アメリカ州	571,547	100.0	640,870	112.1	602,338	105.4	565,532	98.9	540,981	94.7
南アメリカ州	-	-	-	-	-	-	1	-	539	-
アフリカ州	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
大洋州	12,159	100.0	14,158	116.4	15,482	127.3	26,433	217.4	14,901	122.6
その他	1,105	100.0	1,360	123.1	714	64.6	413	37.4	434	39.3
(EU再掲)	257,745	100.0	268,557	104.2	282,191	109.5	295,407	114.6	313,333	121.6

第49表 医療機器主要国別輸入金額

順位	国名	輸入金額		構成割合	
		23年	22年	23年	22年
		百万円	百万円	%	%
	総数	1,058,373	1,055,418	100.0	100.0
1	アメリカ合衆国	515,901	538,356	48.7	51.0
2	アイルランド	125,252	115,112	11.8	10.9
3	ドイツ	90,243	88,723	8.5	8.4
4	中華人民共和国	46,646	42,739	4.4	4.0
5	スイス	41,111	31,346	3.9	3.0
6	フランス	30,278	24,023	2.9	2.3
7	タイ	23,980	29,216	2.3	2.8
8	シンガポール	20,293	19,359	1.9	1.8
9	英国	20,174	24,656	1.9	2.3
10	ペルトリコ(米)	18,605	16,984	1.8	1.6
	その他	125,890	124,905	11.9	11.8

## IV 医薬部外品

### 1. 医薬部外品の生産状況

(1) 医薬部外品の最近5ヶ年の生産金額の推移は、第50表のとおりである。

平成23年の生産金額は8,141億円であり、前年の8,092億円と比較すると49億円(0.6%)の増加となっている。

(2) 医薬部外品薬効分類別生産金額は第51表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、薬用化粧品の2,854億円(35.1%)であり、次いで毛髪用剤1,574億円(19.3%)、ビタミン含有保健剤1,062億円(13.0%)、薬用歯みがき剤1,008億円(12.4%)、殺虫剤506億円(6.2%)の順となっている。

第50表 医薬部外品生産金額の推移

(指数 平成19年=100)

年	生産金額	対 前 年 増 減		指 数	月平均生産金額
		増 減 額	比		
	百万円	百万円	%	%	百万円
平成19年	765,745	9,956	1.3	100.0	63,812
平成20年	809,124	43,379	5.7	105.7	67,427
平成21年	822,808	13,684	1.7	107.5	68,567
平成22年	809,246	-13,562	-1.6	105.7	67,437
平成23年	814,123	4,877	0.6	106.3	67,844



第51表 医薬部外品薬効分類別生産金額

順位	薬効分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		23年	22年	増減額	比	23年	22年
		百万円	百万円	百万円	%	%	%
	総数	814,123	809,246	4,877	0.6	100.0	100.0
1	薬用化粧品	285,354	283,177	2,176	0.8	35.1	35.0
2	毛髪用剤	157,440	156,884	556	0.4	19.3	19.4
3	ビタミン含有保健剤	106,170	110,610	-4,441	-4.0	13.0	13.7
4	薬用歯みがき剤	100,758	102,277	-1,519	-1.5	12.4	12.6
5	殺虫剤	50,631	47,828	2,803	5.9	6.2	5.9
6	浴用剤	38,357	37,821	536	1.4	4.7	4.7
7	腋臭防止剤	23,183	17,970	5,213	29.0	2.8	2.2
8	ビタミンを含有する保健薬	11,309	10,722	587	5.5	1.4	1.3
9	外皮消毒剤	6,826	6,515	311	4.8	0.8	0.8
10	コンタクトレンズ洗浄剤	6,319	7,996	-1,677	-21.0	0.8	1.0
	その他	27,777	27,444	333	1.2	3.4	3.4

(注) 薬効分類の順位は、平成23年の生産金額の順による。

第52表 薬用化粧品の生産金額

(特掲品目)

品名	生産金額		単位	生産数量	
	23年	22年		23年	22年
	百万円	百万円			
薬用クリーム	51,117	54,826	t	10,304	15,206
薬用化粧水	86,819	100,191	千l	10,457	9,684
薬用乳液	35,027	34,611	千l	3,300	2,425
薬用シャンプー	28,032	25,978	千l	27,810	23,461
薬用リンス	1,733	1,668	千l	1,485	975
薬用石けん	23,519	17,555	t	40,311	31,202

第53表 毛髪用剤の生産金額

(特掲品目)

品名	生産金額		単位	生産数量	
	23年	22年		23年	22年
	百万円	百万円			
育毛液剤	27,952	29,777	千1	3,139	3,456
除毛剤	204	149	t	176	103
染毛剤	89,210	85,497	t	30,420	28,259
脱色・脱染剤	1,794	1,722	t	1,762	1,492
チオグリコール酸含有パーマネント・ウェーブ用剤第1剤 (パーマネントウェーブ用剤)	4,557	5,411	千1	2,258	2,536
システイン含有パーマネント・ウェーブ用剤第1剤 (パーマネントウェーブ用剤)	1,720	2,034	千1	1,160	1,349
縮毛矯正剤第1剤 (パーマネントウェーブ用剤)	1,666	2,149	千1	551	870

## 2. 医薬部外品の地域別生産状況

医薬部外品の地域別生産金額は、第54表のとおりである。これによると、関東越静地域が最も多く3,405億円(41.8%)、次いで近畿地域2,250億円(27.6%)と集中しており、両地域で全体の69.5%を占めている。

第54表 医薬部外品地域別生産金額

地域	製造所数 (月平均)	生産金額		構成割合	
		23年	22年	23年	22年
		百万円	百万円	%	%
総数	652	814,123	809,246	100.0	100.0
北海道	5	624	650	0.1	0.1
東北	12	14,454	26,717	1.8	3.3
関東越静	249	340,505	351,782	41.8	43.5
東海北陸	90	146,129	133,348	17.9	16.5
近畿	213	225,010	212,603	27.6	26.3
中国	21	53,965	49,928	6.6	6.2
四国	36	21,654	21,429	2.7	2.6
九州	26	11,782	12,790	1.4	1.6